



1 保育所での子育て支援 / 2 わんぱく相撲 / 3 障害のある人のスポーツ大会
4 老人大学での活動風景 / 5 巡回講座(遊びの達人)

第2章

子どもが健やかに育ち、だれもが健康でいきいきと暮らせるまち

第2章では、子育て、高齢者・障害者福祉、社会保障制度などに関する具体的な取組を示します。

本市では、子育て家庭や高齢者、障害のある人など、だれもが暮らしやすいまちづくりを各分野で連携しながら進めています。しかしながら、急激な少子高齢社会の進行や福祉ニーズの多様化などにより、制度の変革期にあり、これらに対応したまちづくりを進めていくことが必要です。

また、今後10年間で団塊の世代が高齢者の仲間入りをし、これまで以上に活動的な高齢者の増加が予想されます。こうした高齢者などが生きがいを持って活躍できるまちづくりも重要です。

これまでの主な取組に対する市民の評価とニーズ

これまでの主な取組内容	良くなったと思う人の割合	満足度 →	重要度 →
子育て支援(児童福祉) ・保育内容の充実、母子保健の充実など		→	→
高齢者福祉 ・高齢者福祉施設の整備、介護保険制度の円滑な運営など		→	→
障害者福祉 ・福山すこやかセンターの建設、障害者福祉施設の整備など		→	→
健康づくり(保健・医療) ・福山すこやかセンターの建設、健康づくり支援、市民病院の整備など		→	→
生活保護などの社会保障 ・低所得者対策の推進、国民健康保険、国民年金の普及啓発など		→	→

第2章の施策体系

子どもが健やかに生まれ育つ環境づくりの推進

- 安心できる母子保健の推進
- 子育て家庭に対する支援の充実
- 援助を必要とする子育て家庭への支援

高齢者の豊かで実りある生活を支えるまちづくりの推進

- 住み慣れた地域で安心して暮らせるまちづくりの推進
- 介護保険サービス基盤の整備
- 介護予防と健康づくりの推進

障害のある人の自立と安心を支えるまちづくりの推進

- 地域社会で自立し安心して生活できるまちづくりの推進
- いきいきと学び健やかに過ごせるまちづくりの推進

いきいきと暮らせる健康づくりの推進

- 健康づくりの推進
- 食育の推進
- 地域保健・医療体制の強化

だれもが安心して生活できる社会保障制度の適正な運営

- 医療保険制度・国民年金制度の適正な運営
- 生活保護制度の適正な運営



福山のキラリ



保育制度の充実

次世代育成支援対策推進行動計画を定め、延長・一時・休日・病後児・障害児保育など充実した保育制度を中心に、子育て家庭を応援しています。

ここがキラリ

地域での健康づくり

食生活改善推進員、運動普及推進員といったボランティアが、地域で市民の健康づくりを応援しています。

ここがキラリ



食育の推進

食育推進基本計画を定め、健全な食生活や地域における食文化の伝承などに取り組みます。

これからキラリ

生きがいづくり

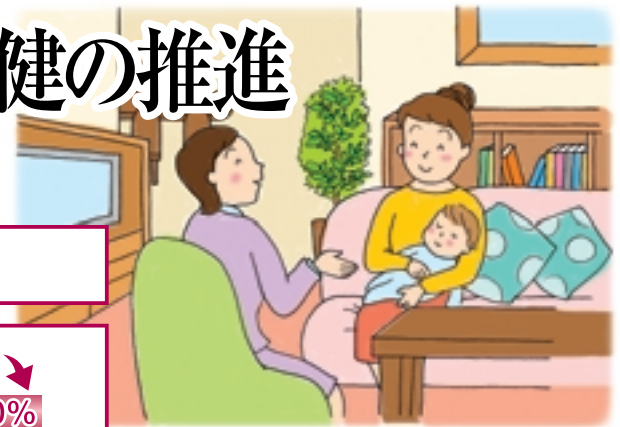
老人大学や公民館などにおける高齢者を対象とした学習機会や社会参加活動などへの支援が充実しています。

ここがキラリ



第1項

安心できる母子保健の推進



目標 子どもを安心して生み育てられるまち

数値目標	ハイリスク妊婦への支援割合 ^{※53}	2005年度	49.9%
		2011年度	100%
数値目標	出産後の母親の精神状態の把握割合	2005年度	61.7%
		2011年度	70.0%

取り巻く環境(現状と課題)

少子化傾向

本市の合計特殊出生率は、1.38と国や県よりは高いものの下降傾向にあります。安心して子どもを生み育てられる環境を社会全体で築く必要があります。

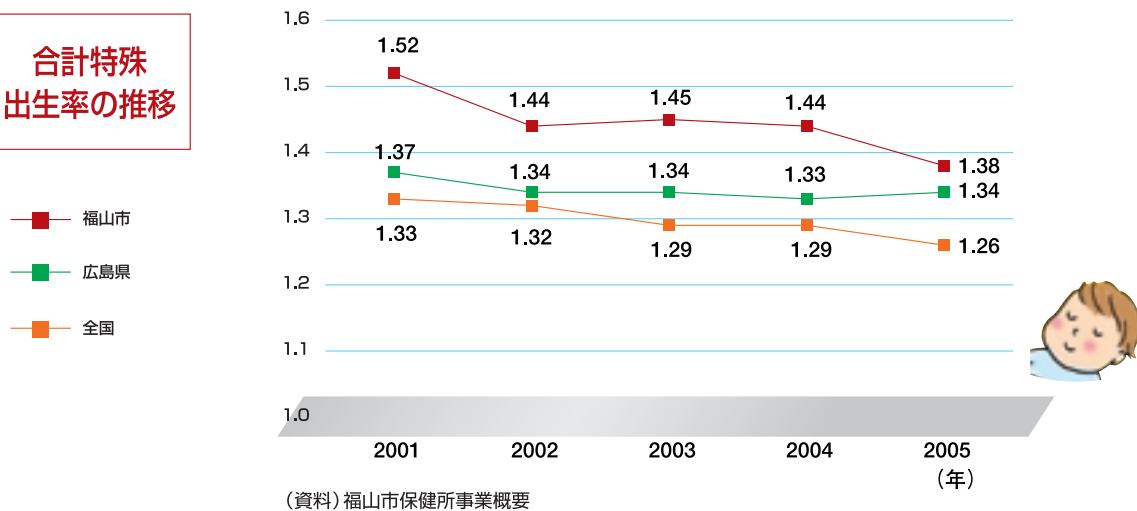
妊娠・出産期の女性を支えるまちづくり

妊娠・出産期の女性は、心身の変化に加えて、ライフスタイルや日常生活にも変化を求められ、希望と不安の中で生活をしており、家族や地域などの支えが必要です。

病気に対する正しい知識の普及

次代を担う尊い命を守り育て、育児面での安心を確保するため、小児医療を充実するとともに、市民への病気に対する正しい知識の普及に努めていく必要があります。

合計特殊出生率の推移



53 ハイリスク妊婦:妊娠・出産に危険が生じる可能性を高く持っている妊婦のこと。
54 合計特殊出生率:おおむね、1人の女性が生涯に生む子どもの数に相当するもの。

「目標」を達成するための取組

妊娠・出産期における支援の充実

母親などへの妊娠・出産に対する心構えや、母親と子どもの健康管理の指導を行います。また、家庭や地域などが協力して悩みを気軽に相談できる体制づくりなどを行います。

- 母子の健康相談
- 妊産婦への訪問支援

安心できる保健・医療体制の充実

乳幼児期は、心とからだの基礎がつけられる大切な時期であり、望ましい生活習慣や健康づくりを支援します。また、子どもの急な病気に適切に対応できる医療体制を充実します。

- 乳幼児訪問支援・健康相談・健康診査の充実
- 子育て支援ボランティアの養成
- 小児医療の充実



乳幼児健康診査



乳幼児健康相談



キラキラサポーターによる声かけ訪問

【子育て支援ボランティア】 (愛称:キラキラサポーター)

「健康ふくやま21」にもとづく事業の1つで、市民が安心して妊娠・出産・子育てができるよう、市の保健師と連携してサポートしています。
市が実施する養成講座を受講した後、地域で声かけ訪問などの子育て支援活動を行っています。

市民として



安心して子どもを生み育てられるよう、家族・地域で見守りましょう。

第2項

子育て家庭に対する支援の充実



目標

生まれて良かった、子育てをして良かったと思えるまち

数値目標

子育てに対する不安や負担を感じる人の割合	※55
就学前児童の保護者	2003年度 60.8% 2011年度 50.0%以下 ↓
小学生児童の保護者	2003年度 56.1% 2011年度 50.0%以下 ↓

取り巻く環境(現状と課題)

地域の子育て力の低下

地域における人のつながりが薄れていることなどにより、家庭や地域における子育て力が低下し、孤立感や子育てに対する不安、負担を感じる保護者が多くなっています。

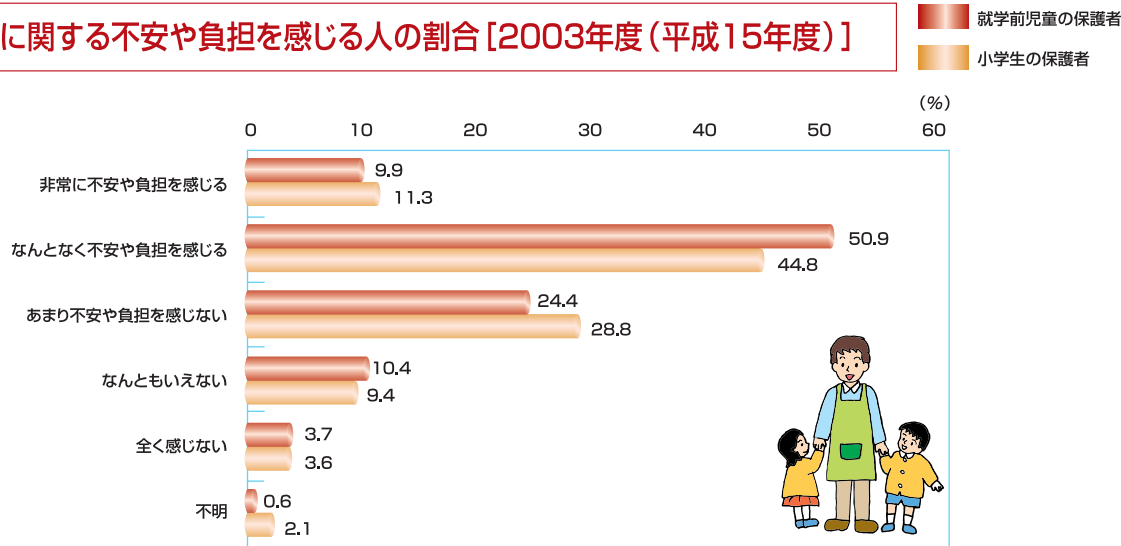
保育ニーズの多様化

就労形態や生活形態の変化に伴い、保育ニーズが多様化しています。今後も延長・一時・休日・夜間・病後児保育などの様々な保育サービスを継続的に提供する必要があります。

子育てにやさしい環境づくり

子育てをしながら仕事も続けられるよう、働き方の見直しなど子育てにやさしい職場環境づくりが必要です。

子育てに関する不安や負担を感じる人の割合 [2003年度(平成15年度)]



(資料) 福山市次世代育成支援対策推進行動計画

55 子育てに対する不安や負担を感じる人の割合: 「福山市次世代育成支援に関するニーズ調査」による。

「目標」を達成するための取組

子育て支援の充実

家庭での子育てを地域全体で支えるため、子育て家庭が集う場の提供や保育所を始め、児童委員、子育て支援ボランティアによる子育て支援など、育児に関する不安やストレスを和らげる取組を進めます。また、子育てを通して親の成長を支援します。

- 子育て家庭が集う場の提供
- 子育てに関する相談・指導
- 子育てに関する情報提供の充実

経済的支援の充実

医療費の助成や児童手当の給付などにより、子育て家庭への経済的な支援を行います。

- 子育て家庭への経済的な支援

子育てと仕事の両立支援の推進

働きながら子どもを生子、育てやすい環境整備を進めます。

- 保護者の就労支援
- 事業者への啓発
- 放課後児童クラブの充実

保育サービスの充実

市民の様々な保育ニーズに対応するとともに、保育サービスを安定的に提供するため、保育所の整備を計画的に進めます。

- 様々な保育サービスの提供
- 保育所の整備



子育て支援事業(りんごグループ)



放課後児童クラブ

市民として



子育てを地域全体で支えましょう。子育てと仕事のバランスをとることができる働き方の見直しなど、子育てをしやすい職場環境づくりを行いましょう。

第3項

援助を必要とする子育て
家庭への支援

目標

かけがえのない「命」をみんなで守り育てるまち

数値目標

子どもを虐待していると思ったことがある人の割合^{*56}

就学前児童の保護者	2003年度	12.7%
	2011年度	5.0%以下 ▲
小学生児童の保護者	2003年度	9.3%
	2011年度	5.0%以下 ▲



取り巻く環境(現状と課題)

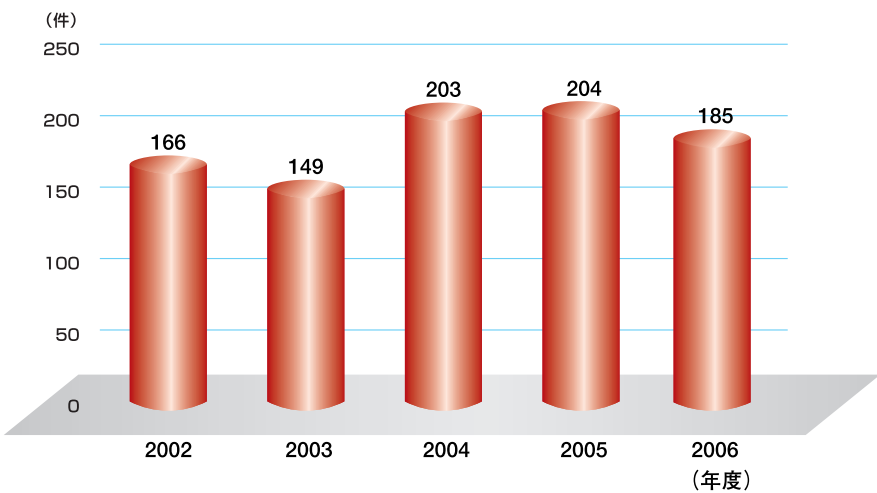
児童虐待の増加

児童虐待の相談・通告は、増加傾向にあります。本市では、児童虐待の防止のため、関係機関・団体による「児童虐待防止ネットワーク」を設置し取り組んでいます。これまで以上の取組が求められています。

ひとり親家庭の増加

母子家庭など、ひとり親の家庭は年々増加しています。ひとり親家庭は経済的に不安定な場合が多く、仕事や子育てなどへの不安を多く抱えています。

福山子ども家庭センターが扱った児童虐待に関する相談件数の推移



(資料) 広島県福山子ども家庭センター資料

「目標」を達成するための取組

児童虐待防止対策の充実

児童虐待を防止するとともに、虐待を受けた子どもが健やかに成長するための取組を進めます。

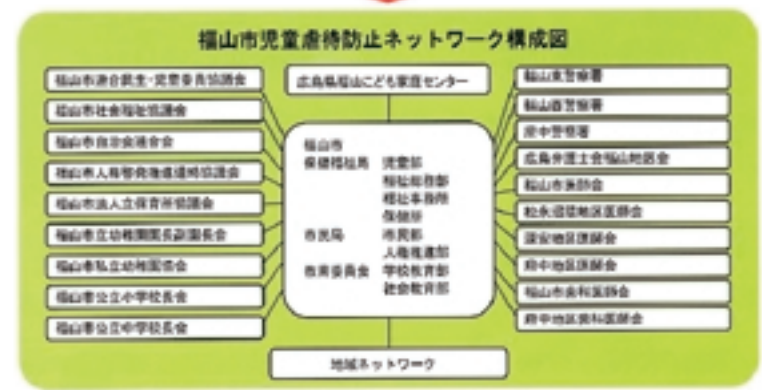
- 児童虐待防止ネットワーク活動の充実
- 育児支援家庭訪問の充実
- 子育て支援ボランティアの養成【再掲】(2-1-1)

ひとり親家庭の自立支援の推進

ひとり親家庭の生活の安定と向上のために、相談体制を充実するとともに、医療費助成や貸付金制度などの経済的支援や就労支援など、自立に向けた取組を進めます。

- 相談指導・経済的支援・就労支援の充実

「もしかして虐待！」という疑いを抱いたら



市民として



子どもにぬくもりのある家庭を築きましょう。

56 子どもを虐待していると思ったことがある人の割合: 「福山市次世代育成支援に関するニーズ調査」による。